

第 58 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 28 年 4 月 25 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 COM 倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
3. 委員の出席 委員総数 7 名
- 出席委員 7 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、桑田政美、中村保
高谷和彦、須貝昭子、神垣美代香
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)
大平麻由美 (編成課長)
野間 耕平 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 月亭天使のエンゼル演芸場
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

女流落語家・月亭天使による、落語の魅力を伝える番組です。落語家の日常や舞台裏のエピソード、さまざまな落語家の入門のきっかけ、落語会情報など、くすっと笑える小咄（こぼなし）も交えてお送りしています。

月亭天使は月亭八方門下、月亭文都（八天）の弟子で、桂米朝の玄孫弟子にあたります。落語会を始め、舞台出演や、創作落語なども手掛けており、若手落語家の中でも精力的に活動しています。

本人から出演の売り込みがあり、トーク番組のゲスト出演を経て、2015年11月から当放送を開始しました。北摂出身・在住で、ユニークな個性を持った女流落語家であり、興味深いトークを期待できるものとして、番組を制作しています。また、彼女のネットワークを活用した展開も視野に入れていきます。

(2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員A：落語はもともとラジオ向き。こういう人が出てきたのはいいことだ。落語の良さを伝えたいということで、構成もよく考えられている。入りから始まり、小咄の世界、音楽もあり、うまく構成されている。話もバリバリの大阪弁で親近感がある。強いて難点を言えば、落語で小咄・マクラは非常に大切なのだが、今回の小咄は普通のトークになっており、話芸というには違和感があった。話芸を發揮してほしかった。落語には面白いマクラがいっぱいあるから、もっと紹介してもらえれば、番組はおもしろくなる。全体的には、おもしろかった。

委員B：もう少し笑いどころがあるかと期待した割には、普通のトークでした。落ち着いた雰囲気だったので、悪い印象ではなかった。構成もいろいろ話題を変えながら、時間を持たせていた。落語の良さについてや、落語家としての苦労話などがあってもいいと思いました。

委員C：最初は歯の治療の話とか、落語家らしくない気もしたが、若い人にはとつきやすい内容だと思う。音楽も aiko やジュディー&マリーなど、その世代には受け入れられやすいだろう。ただ、落語家として出ている以上、落語家の話とか、創作落語も入れてもらえれば、あまり興味のないかたでも引き込まれるのではないか。

委員D：落語の番組であれば、30分番組の前半か後半に15分ほど落語だけのスペースがあり、残りがトークという構成を期待したが、音楽番組や普通のトーク番組という感じが強かった。せつかく落語家が出ているのだから、ちゃんと落語が聴きたい。小咄もよくあるものだが、こういうのをもっと入れてもらえればおもしろいのかな、と思いました。

委員E：全体的に静かな雰囲気良かった。しかし希少な女性落語家という、その辺りをうまく生かしたネタを紹介してもらえれば、大変おもしろいのだが。歩いている途中でネタを拾うなど、自分の体験を生かして仕事をされているようだが、その割には生活感にまみれた感じはせず、良かった。音楽が全曲かかるとは思わなかったが…。40歳前後の人は、この辺の曲をよく聴いていることだろう。選曲から、したたかな熱いハートを持っている人だなと感じた。今後も、そのあたりを気を付けて、内容はおもしろいから、うまく育っていけば楽しい番組だと思う。

委員F：少し辛口な意見になるが、「演芸場」というタイトルから期待するものと中身が合っていないのが気になった。普通のトーク番組になっている。せつかくの女性落語家、おもしろい世界に住んでいる人がパーソナリティなので、もっと落語に特化してもいい。音楽もいらぬ。30分で2曲といったセオリーは無視して、例えば他の若手落語家のマクラも入れ込んでみるとか、本人のPRにもなるし、どんどん使えるのではないかな。せ

っかくの良さが生かしきれておらず、悔いが残った。お笑い好きというコアなターゲットに絞って構成すればよいのではないか。

委員長：出囃子が流れて、「えー」という出だしで舞い上がり、それだけで半分喜んで、それでポンポンと楽しく聴かせてもらい、最後の送り出しの太鼓まで流してもらって、楽しかったなど。一番楽しみだったのは、女性の目線で落語の世界を語ることで、これまであまりなかった印象があり、新鮮で良いと思った。一つ気になったのは、最後の、落語会などの告知が3件4件と続くので、聴いているうちに分からなくなった。一つか二つくらいにしてもらえれば。せっかくテンポよく聞かせてもらったのに、その部分の後味が残念と思った。

委員A：マクラの話は、本来はあそこでくすくす笑わせてガッと引き込んでいくのだろうから惜しいなと感じた。落語は本来の「笑い」で笑える年代のファンが多いだろうから、どうしても辛口になるが、彼女の持ち味を出してもらえばいい番組になる。身の回りにはけっこうおいしいネタがあふれているはず。

委員F：全体を通して「ちょっとおもしろい感」というのがあるような番組だったらうれしい。

委員A：3カ所ほどはくすつと笑えました。

委員F：歌や一般的なトークで、途切れてしまうところに違和感がある。「ちょっとおもしろい」がもう少し続けばいい。それができる人だと思う。

委員C：私は落語に興味がないので、歌を入れて、落語の話を入れて「こういうのが落語なんだ」というスタイルがいいかと思います。落語を好きな人ばかりが聴くわけじゃないので、いろんなかたが聴くことを考えたら、いろいろなバリエーションを持たないと、落語一本で固いことを言われても聴き続けられない。

委員F：出囃子などを主に紹介する回があってもよいかも。

委員B：曲を入れるにしても、エピソードと関係のある曲などがあればいいのでは。

委員A：どこにターゲットを合わせるか。ファンを増やすような仕掛けが必要。

委員長：演芸場に行ったことのないような、例えば主婦が聴いても、この番組なら入りやすいし聴きやすいと思う。

事務局：タイトルについて補足ですが、天使さんは将来、自分で演芸場を運営するのが夢だということで、天使の演芸場＝エンゼル演芸場、という由来があります。

委員F：そういうことなら、若手をもう少し、いいところをとって入れ込むとか。今回話題にしていた月亭太遊さんにしても、「こんなおもしろい兄ちゃんがいる」と話してもらえれば、より分かりやすい。

委員長：番組自体はいい企画で、全体的にいい雰囲気なので、ぜひ上手に長所を伸ばして行ってください。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 28 年 4 月 25 日

箕面FMまちそだて株式会社 番組審議会